

平成26年6月度定例観察会報告書

六甲山自然案内人の会

実施日：平成26年6月14日（土）

天候：晴れ

担当班：4班、（協力 環境学習プロジェクトチーム）

テーマ：六甲山のツツジとアジサイを求めて

見どころ：六甲山を代表する花 アジサイとツツジがきれいです。

国立公園に指定された素晴らしい景観

森林浴を楽しみながら豊かな自然を観察します。

参加人員：ビジター38名 会員40名 合計78名

コース：六甲山記念碑台（県立六甲山自然保護センター）→ノースロード→
ダイヤモンドポイント→三国池→摩耶山掬星台

配布資料：「六甲山のアジサイ」「六甲山のツツジ」（提供 六甲山の自然を学ぼう会）

タイムスケジュール

9：30 開会挨拶

六甲山のツツジとアジサイについて

記念撮影

10：00 観察開始 記念碑台駐車場～ノースロード

10：25 二つ池～六甲山ホテル裏

11：15 シュラインロード

11：25 ノースロード

12：10 ダイヤモンドポイント 昼食休憩

13：00 三国池

13：50 杣谷峠 トイレ

14：50 摩耶山掬星台 到着、解散

概要

梅雨入り宣言があり心配でしたが、よいお天気に恵まれました。

受付で4班に分かれていただいて、9時30分六甲山自然保護センターのレクチャールームにて開会挨拶。当会環境学習プロジェクトチームの香西氏から今回のテーマである六甲山のツツジとアジサイについて生物多様性の問題と関連する話題などを含んでクイズなどで受講者の興味を引きながら解説がありました。

ヤマアジサイ、ドウダンツツジなど「六甲山の自然を学ぼう会」提供のパンフレットを皆さんに見ていただきながら今日一日で何種類くらい発見できるか。楽しんでいただくよう説明。注意事項などの確認の後、玄関前で記念写真を撮影し10時、いよいよフィールドへ飛び出しました。

まずは階段下で石垣に生えている植物について説明。狭い隙間にいかにも窮屈そうに見えるが実は石垣の裏側には広い空間があって水分も十分で快適な環境であることを説明。

ホテルコースに入るとウツギ、ノリウツギ、ツクバネウツギ、コツクバネウツギ、などのウツギ、コアジサイの花がちょうど見頃を迎えており少し安心しました。

二つ池ではモリアオガエルの卵塊が複数樹上にあり鳴き声も聞こえました。これから産卵期の盛りを迎え森の中が賑やかになる等モリアオガエルの生態について解説。近くのベニドウダンの大木のところでは散った花がたくさん地面に落ちていました。このホテルコースは山の案内人の観察コースになっており下見も十分されているため詳しく説明を行うことができました。

六甲山ホテル裏からシュラインロード経由でノースロードに戻り、ツリガネツツジ、バイカツツジ（花が咲いていた）、ハンショウヅル、ヤマアジサイとセイヨウアジサイなどの栽培種と自生種が混在している様子を見たり、コアジサイとコガクウツギの自然交配種のアマギコアジサイなどの解説を聞きながら森林浴を楽しんでいただきました。

12時10分からダイヤモンドポイントで昼食。班ごとに集まり休んだので多人数にも関わらず混雑にはなりませんでした。参加者から定例観察会の問い合わせや会への入会方法等についての質問などがあり休憩時間も活発な情報交換の場となりました。

午後は、別荘地の中を歩きながらイヌブナ、アオキ、スギやヒノキの林で樹種の違いによる環境の変化を説明。ツルアジサイ、イワガラミの違いについて実物を見ながら確認。

13時頃、三国岩、三国池を通過。A.H.グループと六甲山の開発について簡単に解説。自動車道を横切ると少し植生が変わりアカガシ、ミズナラ、カマツカ、などを説明。

シロバナウンゼンツツジは花が終わっていたが特徴ある葉を観察。

14時50分ころから掬星台に到着、15時5分までには最終グループも到着し解散。摩耶ロープウェイ、15時10分発の阪急バス、徒歩などで皆さん下山。梅雨の最中にも拘わらず晴れて、吹く風が爽やかであったため心配した熱中症になる方もなく無事終了しました。

最後になりましたが、特別講師の方々、環境学習プロジェクトチームの皆様の支援のお陰で有意義な観察会を無事終えることが出来ました。有難うございました。

報告：田丸



